

- 2面 北星海運株式会社 新造船就航
新日本海フェリー株式会社
新造船進水式
- 3面 和歌山県和歌山市と白浜町で
出前講座実施

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行 第3104号 (昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2025年(令和7年)
12月15日
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価 1部 50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

関東地区 内航船社代表者との 懇談会を開催

海技人材をいかに確保するかがテーマ



懇談会のようす(左が組合側、右が会社側)

内航海運の現状と課題で意見交換

11月26日、海員組合関東地方支部3階大会議室で、内航船社各社代表と組合代表者による懇談会を開催し、会社側は内航船社は19社と船主団体内航労務協会の計39人、組合側からは松浦満晴組合長以下17人が出席した。懇談会では「内航海運の現状と課題および船員の確保育成など」を議題として意見交換を行い、若手船員の定着率や、女性船員の居住環境への取り組みなどについて意見交換を行った。

はじめに松浦満晴組合長が混迷する世界情勢、現在の国内輸送の景況などに触れた上で「少子高齢化が急速に進む中で、喫緊の課題である後継者確保育成や海技人材をいかに確保するかがテーマとなっている。また運賃や用船料についても議論がなされており、国に対して働きかけを強める必要がある。さらに、船員の働き方改革についても議論がなされており、船員の労働環境改善に向け、労使一体となり取り組んでいくことが求められている。本日は、内航海運の現状や船員確保育成について各社の現状や問題などの報告説明を受け、忌憚のない意見交換を行い、実りある会議にしたい」とあいさつした。

送コストの大幅な増加などで、船社を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。本日は労使の関係を越え、現在内航海運が置かれている問題について共通認識を図り、有意義な懇談会にしたい」とあいさつした。

懇談会では「内航海運の現状と課題および船員の確保育成など」を議題として、意見交換を行い、各船社からは▽新規・中途採用者の定着率▽各社の状況▽船員の働き方▽スローリンクの設置状況▽女性船員の採用および船内設備・環境▽船員養成施設の定員減について▽連立政権交代に対する期待▽違法なリクルート業者についてなど、各社の現状と課題について報告や問題提起がなされた。

続いて会社側を代表し、福田和志船主団体内航労務協会会長(NSユニテッド内航海運株式会社代表取締役社長)が「国内物流の4割を担う内航海運は、後継者不足問題において非常に厳しい状況に置かれている。各船社の企業努力で、情報通信インフラや居室設備の改善など、船員にとって働きやすい環境づくりに取り組んでいる。しかしながら、諸物価の高騰や、輸

《関東地方支部2発信》

中国地区 内航海運懇談会

若年船員の希望に応え定着率を改善したい



10月31日、海員組合中・四国地方支部会議室で中国地区内航海運懇談会を開催し、内航船社7社、船員教育機関5校、中国地方海運組合連合会、広島県内航海運組合、中国運輸局、本組合からは平岡英彦中央執行委員をはじめ中・四国地方支部管内執行部合わせて33人が出席した。

行い、今後の課題解決に向けた活動につなげていきたい」とあいさつした。

次に岡本信也中国地方海運組合連合会会長と竹谷浩国土交通省中国運輸局海事振興部部長があいさつし、議事に入り、内航海運各社と各船員教育機関から現状報告が行われ、意見交換を行った。

各社からの主な意見・要望

▽会社と学生が対話できる機会が少なく、運輸局には学生と直接話ができる場を増やして欲しい。

▽船員不足解消のため、未経験者の採用も積極的にを行い、免状取得をさせている。

▽若年船員の希望に応えることで定着率を上げさせ、船員の育成に努めていきたい。

船員教育機関の意見・要望

▽一般的に船員職業の認知度は低く、改善するためにも、学生に対して船員という職業を広める活動が必要である。

▽船員職業への関心を持ってもらうためにも、早期に小学生を対象とした啓発やイベントなど、さまざまな取り組みが必要である。

中国運輸局からは「中国運輸局の船員政策」について、船員の求人・求職状況と雇用促進の取り組みが報告された。組合からは、各地区での体験乗船や若年船員の確保・育成への取り組みについて報告し、意見交換の中で共通認識を図った。

最後に、海運業界が抱える諸課題に対し、官学労使が協力して取り組むことを確認し、中国地区内航海運懇談会を終了した。

《中・四国地方支部2発信》

北星海運株式会社

新造船

プリンセスベル就航



11月13日、北星海運株式会社の新造RORO船「プリンセスベル」(9521トン)が福岡県(糸田)・神奈川県(追浜)航路に就航した。

品車732台、トレーラー50台を積み込むことが可能である。その船型は当社所属船と比較して、よりシャープになっており、空気抵抗を考慮したデザインとなっている。また、車両甲板はグレーを基調としており視認性を大きく高め、また、車両甲板空調設備を取り入れるなど、船員、作業員の快適性を高めている。さらに先端技術を取り入れ、異常熱をいち早く検知し、火災やその他異常を検知できるシステム(層内監視用サーモ)も導入された。

また、快適な情報通信インフラ構築のため、低軌道衛星通信サービス「スターリンク」が導入され、船員の居住環境を最優先に考えられている。

北星海運株式会社のフラッグシップとなる本船は、内航海運業界の大きな期待を受け、力強く大海原に乗り出していくことだろう。

本船は自動車運搬を主用途として建造され、日産自動車株式会社の完成車両運搬に従事する。全長158.03m、全幅24.6m、積載能力は商

品車732台、トレーラー50台を積み込むことが可能である。その船型は当社所属船と比較して、よりシャープになっており、空気抵抗を考慮したデザインとなっている。また、車両甲板はグレーを基調としており視認性を大きく高め、また、車両甲板空調設備を取り入れるなど、船員、作業員の快適性を高めている。さらに先端技術を取り入れ、異常熱をいち早く検知し、火災やその他異常を検知できるシステム(層内監視用サーモ)も導入された。

また、快適な情報通信インフラ構築のため、低軌道衛星通信サービス「スターリンク」が導入され、船員の居住環境を最優先に考えられている。

北星海運株式会社のフラッグシップとなる本船は、内航海運業界の大きな期待を受け、力強く大海原に乗り出していくことだろう。

船名の由来は「美女と野獣」のヒロインの名前

《関東地方支部》発信

新日本海フェリー株式会社

新造船

大型カーフェリー

「はまなす」進水式



10月9日、晴天の秋空のもと、三菱重工株式会社下関造船所で、多くの関係者や見学者が見守る中、新日本海フェリー株式会社の入谷泰生代表取締役社長が「はまなす」と命名した新造船の進水式が行われた。

進水した4代目「はまなす」は、船尾がアヒルの尾のように張り出しているダックテールや、アンチローリングタンクとフィンスタビライザーを併用した省エネ型減揺システムが採用されており、省エネの最新鋭の船として期待されている。《大阪支部》発信

行われた。進水式では、一般社団法人日本旅客船協会の小林希船旅アンバサダーが支綱を切断すると、巨大な船体が船台を滑り降りた。

令和7年度近畿地区内航船社官学労使懇談会



12月4日、ニューオーサカホテルで、近畿地区内航船社官学労使懇談会が開催され、会社側は19社2団体の38人、学校関係者が6校7人、運輸局関係者4人、組合からは12人の計61人が出席した。

はじめに平岡英彦中央執行委員が「本日の議題の大きなテーマである船員の確保育成は、全ての産業において重要なテーマである。本日の懇談会を通じて内航海運に若い人材を呼びこむことにつなげられるよう、願っています」とあいさつし、続いて宮崎昇二郎一洋会会長と岡村知則国土交通省神戸運輸監理部海事振興部長があいさつした。

次に船員教育機関から、教育現場における諸課題や進路状況の説明があり、国土交通省近畿運輸局からは若年内航船員確保の取り組みについて報告が行われ、学校側からは▽学生の卒業後の動静について把握が難しいこと▽女子生徒の船員希望者が増加傾向にあること▽インターシップについてなどの報告が行われた。

最後に浦隆幸関西地方支部長が閉会のあいさつをして、官学労使懇談会を終了した。《大阪支部》発信

2025年12月15日

中央選挙委員会 議長

齋藤 洋

第40期全国委員の当選告示

一、2025年12月5日付で告示した第40期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。

対立候補者がいない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

《地方区・地方単位》

03 関東

(補充定員2名・立候補者2名)

当選人 橋本 康聖

関東地方支部在籍専従執行部員

当選人 松下 翔馬

関東地方支部在籍専従執行部員

《企業区・企業単位》

031 関東地区外航Bグループ

(補充定員1名・立候補者1名)

当選人 加藤 真也

第一中央汽船 一等機関士

032 関東地区外航Cグループ

(補充定員1名・立候補者1名)

当選人 井上 雅仁

出光タンカー 一等航海士

033 ENEOSオーシャン

(補充定員1名・立候補者1名)

当選人 廣中 楽大

ENEOSオーシャン三等航海士

081 隠岐汽船

(補充定員1名・立候補者1名)

当選人 村上 智彦

隠岐汽船 事務員

086 中国地区沿海Cグループ

(補充定員1名・立候補者1名)

当選人 鈴木 雄一郎

隠岐汽船(陸上) 陸上職員

104 ニッスイマリニ工業

(補充定員1名・立候補者1名)

当選人 星野 昭藏

ニッスイマリニ工業 甲板員

以上

▽水産高校の入学希望者増加に向けた対応について▽インターシップの助成事業について▽ハローワークにおける募集状況などの質問および意見が出された。

最後に浦隆幸関西地方支部長が閉会のあいさつをして、官学労使懇談会を終了した。

《大阪支部》発信



白浜町立白浜第一小学校と白浜町立白浜第二小学校合同で出前講座

和歌山県・和歌山市と白浜町 中学校と小学校、4校で 出前講座



白浜町立白浜中学校



和歌山市立有功東小学校 講師: 畑中智尋職場委員



和歌山市立有功東小学校 講師: 鈴木孝二職場委員(中央)



和歌山市立有功東小学校 講師: 左から森健輔職場委員、小島英悟在籍専従執行部員

4つの学校で出前講座を実施
① 白浜町立白浜中学校
② 白浜町立第一小学校
③ 白浜町立第二小学校
④ 和歌山市立有功東小学校
11月26日、和歌山県白浜町の白浜町立白浜中学校2年生を対象に「船の学校紹介」として出前講座を実施した。また、同日、白浜町立白浜第一小学校と白浜町立白浜第二小学校の5年生を対象に出前講座を実施し、翌11月27日には和歌山市立有功東小学校5年生を対象に「日本と世界の貿易」として出前講座を実施した。これまで毎年、白浜町立第一・第二小学校で出前講座を開催してきたが、白浜町立白浜中学校と和歌山市立有功東小学校では初めての試みとなった。

11月26日午前中、講座を実施した白浜町立白浜中学校に在籍する2年生には、小学生の頃、出前講座と体験乗船を経験した白浜町立白浜第一・第二小学校出身の生徒もいた。今回の出前講座は、森健輔新日本海フェリー株式会社職場委員、鈴木孝二NXX海運株式会社職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船株式会社職場委員の3人に協力していただいた。講座では「船の学校紹介」として船員職業の重要性、国内の船員学校について講話を実施した。講話終了後、小林泰之大阪支部長が、現在の鳥羽商船高等専門学校のカリキュラムおよび寮生活について話をした後、質疑応答に移り、生徒から「船員の給料」「船内生活や乗船期間」などについて質問があった。

11月26日午後からは、白浜町立白浜第一小学校の生徒代表から、開催に対する謝意と「船舶が日常生活に重要であること」が分か



白浜町立白浜第一小学校



白浜町立白浜中学校



和歌山市立有功東小学校

りとてもいい勉強になった」とあいさつがあり終了した。11月27日は、和歌山市立有功東小学校の5年生を対象に初めての出前講座を開催し

た。2クラスに分かれて「日本と世界の貿易」について講座を行った後、質疑応答では「船の種類」「船長の仕事は何があるのか」などの質問があ

り、とりわけ船員の給料や休暇については、関心を持って熱心に聞いていた。最後に参加者全員に記念品を手渡し、校長先生をはじめ

とする教師たちからは、来年も引き続き、船と貿易に関する講座を開催していただきたいと強い要望をいただいた。
《大阪支部刊 発信》



琴平海洋博物館 (海の科学館)
冬休み特別展示

2025 12/17(水) ~ 2026 1/12(月・祝)

キミも船員さんになろう！

冬休み期間限定で小中学生向けの特別展示が開催されます。外航海運の重要性や外航船員の仕事の魅力、船員になるための進路など、楽しみながら社会科・キャリア教育に役立つ内容となっています。

船員さんの仕事って？

外航船員の仕事の内容ややりがい、海運の大切さを伝えるコーナーです。子どもたちの疑問に船員さんが答えるインタビュー動画も。

外航船クイズ

船を使った貿易や外航船員の仕事に関するクイズに挑戦できます。楽しみながら日本の貿易や仕事について学べます。

楽しく
学べる！！



入館料割引

博物館の受付の人に合言葉「船員さんになりたい！」と声をかけていただくと入館料が割引となります。

大人（一般）通常 500 円→割引料金 400 円
中学生・高校生 通常 350 円→割引料金 280 円
小学生 通常 250 円→割引料金 200 円

※本特別展示開催期間中のみ有効です。

外航船員になるには…

外航船員になるための進路が分かるコーナー。商船系高専生のインタビュー動画や子ども向け小冊子も。自分の将来の仕事を考えるきっかけになります。



琴平
海洋博物館で
お待ちしております！



企画 J-CREW プロジェクト
運営 Gakken 株式会社 Gakken

J-CREW プロ
ジェクトサイト
はこちら→



琴平海洋博物館 (海の科学館)
9:00 ~ 17:00 (最終入館は 16:30 まで) / 年中無休
TEL : 0877-73-3748 TEL : 0877-73-3116
E-mail / info@kotohira.kaiyohakubutukan.or.jp
〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町 953 番地

香川県

琴平海洋博物館 (海の科学館)

外航船員・外航海運に関する特別展示を開催

船員養成教育機関への進学を推奨する広報活動「J-CREWプロジェクト」や「外航船員が好き」が、外航船員や外航海運に関する特別展示「キミも船員さんになろう！」を開催します。会場は香川県の琴平海洋博物館 (海の科学館)、会期は令和7年12月17日(水)〜令和8年1月12日(月・祝)です。

この展示は、四面を海に囲まれた日本の基幹産業である外航海運、またその担い手である外航船員という職業の重要性を子どもたちに伝えることを目的とし、通常の来館者に加え、キャリア教育における校外学習の一環として近隣の小学校にも来場を呼び掛けています。展示においては、外航海運の重要性や外航船員の仕事の内容、外航船員になるための主要なルートなどについて、パネルや動画、クイズアプリなどを用いて学習できる内容となっています。

また、特別入館料割引として、博物館への入館時に受付に合言葉「船員さんになりたい！」と声をかけていただくと、入館料が割引になります。

「海の神様」として名高い金刀比羅宮の麓にある琴平海洋博物館に、冬休みの機会を利用して足を運んでみてはいかがでしょうか。《外航部》

J-CREW
プロジェクト
～ やっぱり海が好き～



www.j-crewproject.jp

© J-CREWプロジェクト～やっぱり海が好き～